

秋田人変身力会議 第2期(21年度)事業報告

第2期(21/7～22/6)の事業活動を、第2回定時総会で承認された事業計画に従ってご報告いたします。

1. 会員数 200 名を目標に組織の増強を図る。

6月末時点の会員数は、113名と目標の56.5%に止まり、昨年度対比では16名の増となっております。次葉の活動記録にあるとおり研究会参加者は、635名と昨年度(400名)比159%と順調に増えているにもかかわらず、研究会参加者(会員の参加率は30%前後)を入会にまで勧誘できなかったことは、力量不足を反省せざるを得ない。

2. 連携組織の協力を得て年間6回の「変身力研究会」を開催する。

活動記録のとおり計画通り年6回の研究会を開催しましたが、連携組織との交渉に手間取り、2回(わらび座)と3回(医療立県)の間隔が4カ月も開いてしまいました。

また、会員の参加率が30%前後に止まっていることも問題であり、テーマや開催時間帯等も含め検討し、参加率を高めるような運営を目指したい。

3. 提言活動について

当県の活性化のために「医療立県」と「内陸線の長期存続」に取り組むこととしたが、「医療立県」については、提唱者である工藤教授の講演会を開催し、理解を深めるとともに、有志で「医療立県研究会」を組織し、4回の研究会を開催し、その成果を9月4日に開催を予定しているフォーラム「医療・介護立県 世界から秋田へ」で、発表することとしている。

「内陸線」については、県及び関係2市が存続の方針を決定したことから、特に取り組まなかった。

なお、3月以降当県への移住促進についての取り組みを開始し、フォーラムを連携団体と共催したことが、「ようこそ秋田移住促進会議」設立へと繋がった。

4. 「変身大賞」の活性化

変身大賞については、県民の認知度向上を目指して連携団体及びマスコミの後援を得ることとしていたが、時間的な関係から実現しなかったため、来年度の課題としたい。

また、選考方法については、事前審査制を導入し選考基準の水準維持に努めた。

5. ホームページの活性化

広く会員の意見をブログ「変身あれこれ」で発表してもらおうこととしたが、タイムリーに原稿が集まらず、掲載意見が計画の半分程度に止まったので、来年度の課題としたい。

第2期（21年度）活動記録

(1) 総会・研究会

開催日	テーマ・講師等	場 所	出席者数
21.07.13	第2回定時総会及び変身大賞表彰式 フォーラム「秋田で元気にパート2」 パネラー：受賞者4名	県庁正庁	70名
21.08.01	龍馬と高知の地域おこしフォーラム パネラー：西山高知商工会議所会頭他	わらび座	200名
21.12.04	「医療 秋田から世界へ 医療立県」 講師：工藤進英昭和大学医学部教授	サンパル	100名
22.02.09	「理念経営が秋田を変える」 講師：宮田矢八郎産業能率大学教授	アルヴェ	75名
22.03.20	移住・交流フォーラム パネラー：北海道商工会連合会大山慎介次長他	ルポールみずほ	80名
22.05.27	フォーラム「食と農からのまちづくり 横手市の改革と成長戦略」 基調講演：五十嵐横手市長 パネラー：五十嵐市長、甲斐日銀支店長他	秋田市文化会館	110名

上記以外に「医療立県研究会」（会員数10名）を22年3月から6月まで毎月1回、計4回開催した。

(2) 幹事会 3回(12/4、2/9、6/25)

(3) 四役会議 3回(11/12、12/21、1/22)